

東京都栄養士会の 2021 年度定時総会が開催されますこと、誠におめでとうございます。開催にあたりまして、お祝いの言葉を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の日本初の感染者が確認されてから 1 年以上たちますが、猛威をふるうこの感染症は一向に収まらず、今年度になり新たな変異株も急増しています。このような切迫した状況の中、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向け、万全な感染予防対策で聖火リレーが始まりました。無事に開催できることを祈るばかりです。

このたび公表されました令和 3 年度介護報酬改定は、我々管理栄養士・栄養士にとって画期的な改正となりました。施設では現行の栄養士に加えて管理栄養士の配置が位置付けられ、栄養ケア・マネジメントが入所者全員に行える体制が整うなど、これまで以上に高齢者に寄り添った栄養管理に繋げることができるようになるなど大変に喜ばしい限りです。また、都道府県栄養士会の皆様にも大変なご尽力をいただき、各地に認定栄養ケア・ステーションが設置され、積極的な活動が行われているところですが、本改定では都道府県栄養士会栄養ケア・ステーションに登録された管理栄養士が通所施設や認知症グループホームにおいて活動の場を広げることができました。そこで、本会では全国の介護保険施設に従事する又は今後従事する予定の管理栄養士・栄養士や通所施設での栄養ケア・マネジメントの活動を希望される約 1 万人を対象に研修会を実施しました。オンラインやオンデマンドを活用した研修会等の受講者は当初想定した 1 万人を遙かに超える 3 万人超の方々に受講いただきました。都道府県栄養士会の皆様には多大なご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

また、今年 12 月には、延期されていた東京栄養サミット 2021 が開催されます。本会ではこれまでの我が国の栄養改善活動とその成果である“Japan Nutrition”を未来に繋ぐために、東京栄養サミットでは国内はもとより世界に発信するとともに、開催終了後は、誰一人取り残さず、全ての人々が健康長寿になることを目標とした栄養施策の立案に係る技術的支援を通じて、世界の持続可能な発展に貢献してまいりたい所存です。

現在も、コロナ対応の最前線である医療・福祉現場で活動を続ける管理栄養士・栄養士をはじめ医療・福祉関係者の皆様、貴会会員の皆様に感謝するとともに心より敬意を表します。このような時こそ、栄養の力を活用し、新型コロナウイルスに打ち勝つ体力を持つことが必要となります。すでに栄養不良で著しく免疫力が低下している人、高齢で咀嚼・嚥下機能が低下している人、何らかの食事療法を行っている人等は、医師や管理栄養士の指導のもとに、特別用途食品や栄養サプリメントなども活用して、できる限り適切な栄養管理を維持できるようにすることが必要です。全国の管理栄養士・栄養士は、国民の皆様と力を合わせて、この難局を乗り越え、明るい未来に向け最大限の努力をしていきましょう。貴会会員の皆様におかれましては、まずはくれぐれもご自分の健康管理に留意され、給食利用者及び地域の皆様の健康の保持増進のためにご尽力くださるよう幾重にもお願いいたします。

最後に、この事態が早期に収束することを心から願うとともに、皆様とお会いできることを楽しみにしています。

2021 年 5 月 30 日

公益社団法人日本栄養士会
代表理事会長 中村 丁次